

H24年度総合評価(文化スポーツ課所管施設)

施設名	三の倉市民の里	文化会館	学習館
指定管理者名	(公財)多治見市文化振興事業団	(公財)多治見市文化振興事業団	(公財)多治見市文化振興事業団
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)
設置目的	人と自然とのふれあいの中で、青少年の健全育成を図るとともに、広く市民の生涯学習を推進するための宿泊研修施設。	市民の文化、芸術及び教養の向上並びに福祉の増進を図るための施設。	市民一人一人の学習・文化活動を支援促進するとともに、生涯学習に係る事業の有効的な実施の推進を図ることにより、市民文化の向上に寄与するための施設。
報告書類等の提出状況	良好	良好	良好
運営・利用状況	利用状況	良好	良好
	市事業の実施	良好	期待以上
	自主事業	期待以上	期待以上
施設管理状況	施設管理	良好	良好
	備品管理	良好	良好
	その他管理	期待以上	期待以上
収支状況(円)	総収入	49,749,180	188,899,103
	内利用料金収入	7,592,447	29,345,589
	内指定管理料	39,970,000	102,800,000
	支出	45,132,655	178,077,138
	収支	4,616,525	10,821,965
市民利用者の声の反映	良好	期待以上	良好
	良好	期待以上	期待以上

全体的評価	・家族で自然体験する場所を提供する年間事業「どんぐりくらぶ」は、家族間の仲がより深まる良い機会となり、参加者からは喜びの声が多数聞かれた。 ・2012年が「金環日食」現象のある年であったことから、平日にも関わらず約100名以上の参加があり、宇宙への関心が高まる良い機会となった。 ・宿泊体験事業として「天体キャンプ」を実施するなど、新しい事業を積極的に展開した。 ・施設の有効利用を高める事業を積極的に行い、新しいユーザーを獲得することができた。	・避難訓練コンサートを実施したことにより、職員、観客の防災意識が飛躍的に向上した。 ・清掃時間の増加、及び効率的なフレックスタイムを導入した。 ・広報スペースの拡大、デジタルサイネージの導入など、情報サービスを充実させた。 ・市民参加型事業「たじみ音楽祭」の新設やアウトリーチの教育的アプローチなど新規事業に取り組んだ。 ・郷土愛を育む市民創作事業「たじみ街ダンス」「ことばの劇場」を実施を継続して実施した。 ・日本の伝統芸能「能・狂言：観世流鍔仙会」を実施し、好評を得た。 ・鑑賞プラス体験の定番化や充実のワークショッププログラムを実施した。 ・駅北アートプロジェクトを指導し、多治見駅から文化会館のアート作品展示を実施し、文化会館周辺のアートマップも作成することができた。 ・地元アーティストの育成事業を実施し、アウトリーチアーティストとして登用、活躍の場を提供した。 ・高位安定した運営ができており、事業についても期待以上の成果を上げている。	・これまで10社と別々に委託していた維持管理・保守点検業務を、総合的にマネージメントができる1社に一元化し、施設全体を横断的に眺めながら現状把握・分析ができる体制を継続実施した。 ・市からの要請にこたえ、人工知能による空調制御システムを導入し、積極的に電力量削減に取り組んだ。 ・建築から16年を経過した建物の持続可能な維持管理を行うために、館内の諸設備の大規模な劣化診断を実施し(設備劣化診断報告書としてまとめ)、客観的に諸設備の稼働状況や劣化の把握に努め、建物の効率的かつ総合的な維持管理を行える体制を構築した。 ・昨年度から引き続き、図書館郷土資料室と連携し、収蔵資料を活用し、「見る」「知る」「学ぶ」の視点から多治見の地域資源を見つめ直す講座を実施した。 ・1階ロビー等を利用した事業展開をさらに充実させ、年間26事業(全32回)実施した。 ・桔梗大学の講座の一部を、年齢等にかかわらず誰でも受講できる講座として一般公開し、桔梗大学のPRと市民の学習機会拡充を図った。 ・学習館がコーディネート役となり、市民病院の医師による健康医療講座を市内9会場で開催したほか、市内民間事業者の協力のもと、夏休みの子ども職業体験講座「たじみごっこ」を開催した。さらに、まなびパークたじみが位置する駅南地区の商店街を会場にした事業を実施した。 ・受講者が定着している講座は活動の自立化を促し、24のサークルが誕生した。一方で、市民のさまざまな学習意欲に応えるため、アドバイザーの発掘に努め、オープンキャンパスの理念や仕組みを伝える場であるアドバイザー説明会を40回実施した。 ・公民館を統括し、一体となって市の生涯学習の推進に大きく寄与している。 ・維持管理、事業ともに期待以上の成果が上がっている。
利用人数・前年度比増減率	延べ24,270人 (前年度比0.5%増)	延べ190,185人 (前年度比10.6%減)	延べ111,734人 (前年度比6.1%増)
増減の理由	特になし	施設の利用率が増加したが、全体の利用人数は減少した。	オープンキャンパス講座出身のサークルの利用者が増加したことや、桔梗大学の講座を一般公開するなど、学習機会の拡充が要因。
H24年度総合評価(文化スポーツ課所管施設)			
施設名	図書館・子ども情報センター	旭ヶ丘公民館	市之倉公民館
指定管理者名	(公財)多治見市文化振興事業団	(公財)多治見市文化振興事業団	(公財)多治見市文化振興事業団
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)
設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設。	地域住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする施設。	
報告書類等の提出状況		良好	良好
運営・利用状況	利用状況	良好	良好
	市事業の実施	期待以上	期待以上
	自主事業	期待以上	期待以上

施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好
	備品管理	良好	良好	良好
	その他管理	良好	良好	良好
収支状況(円)	総収入	133,629,675	19,534,590	20,146,430
	内利用料金収入	—	—	—
	内指定管理料	132,500,000	18,902,500	18,805,000
	支出	133,237,385	17,436,310	17,177,446
	収支	392,290	2,098,280	2,968,984
市民利用者の声の反映		良好	良好	良好
全体的評価		期待以上	良好	良好
		○図書館本館 ・図書館司書と美術館の学芸員がそれぞれの立場から資料について解説するおはなし会を実施し、この企画から新規利用者層を取り込むことができた。 ・本棚にスマートフォンで読み取りできるタグを取り付け、特定のテーマの本について所蔵状況を検索できるようにした。また本とインターネットの関連ページをリンク表示させ双方向からの情報を得られるようにした。 ・郷土資料室によく寄せられる質問を題材にして、郷土資料室のPRポスターを作成し市内公共施設に加え、観光案内所に掲示した。多治見を訪れる観光客やボランティアガイドに向けても郷土資料室の活用方法をPRした。 ・昨年度から郷土資料室が継続的に実施しているレクチャー付きウォーキング講座と資料展示を実施した。さらに参加者が受講中に撮影した画像を、キャプションを付けてインターネット上で公開し、郷土資料に触れる機会を提供した。 ・地域情報コーナーにラックを設置し多治見の歴史、生活、文化情報を集約したコーナーを新設した。地域の情報源として提供でき、継続的に資料を収集することで、図書館の地域資料として蓄積できた。 ・シニア層利用者の増加や視覚障がい者に対し、録音テープ図書の貸し出しや、大活字本の有効活用を図った。 ○子ども情報センター ・夜間開館の対応として、24時間体制の機械警備、非常通報システムを導入した。 ・「たじみオープンキャンパスU-19」「ブックメイト読み聞かせGO」「子ども夢ネット表紙のデザイン」「部活サポート活動」等で中学生や高校生が日頃の成果を発表したり、得意な分野を活かして活躍したりできるような場面を創り出すことができた。 ・「本との魅力」をより効果的に伝えるために、絵本と子どもをつなぐ事業を開催した。 ・多彩なプログラムの提供と一人ひとりの意欲に応えるサポートで、魅力ある学習機会を提供し、貸出人数、貸出冊数の増加につながった。	・様々な問題を抱える地域の中で頻発するトラブルに対し、適切に処理している。 ・公民館での出会いをきっかけに、地域の人と人との新しいつながりが生まれ、利用率アップにつながった。 ・男性が参加しやすい講座を企画し、地域での交流促進をすすめることができた。 ・「寺子屋」事業では、放課後の子どもの居場所づくりに貢献することができた。 ・ロビーがない施設なので、ローカギャラリーを開催し、新しい利用者の来館促進につながった。 ・利用者の要望や苦情に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。	・毎年右肩上がりで、部屋の利用・使用料収入が上がっているのは、継続的に主催講座をサークルに移行した結果である。 ・平成22年度より「男塾」と称した講座を企画し、その中で自主運営できる講座をサポートした結果、シニア男性中心のサークルが立ち上がった。 ・学校5日制への対応が目的で誕生した「ふるさと楽園」が10年目を迎え、地域の方が野外教室をより安全に進行できるよう協力し、企画にも参加してくれるようになった。 ・ブログやツイッターを利用し、リアルタイムの情報発信をしている。 ・設備の故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・利用者の意見や要望に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。
利用人数・前年度比増減率		本館：延べ163,819人（前年度比3.1%減） 子ども情報センター：延べ 8,508人（前年度比6.4%増）	延べ48,944人 （前年度比2.5%増）	延べ31,882人 （前年度比7.6%増）
増減の理由		特になし	特になし ※衆議院選挙・岐阜県知事選挙の関連で利用者が増加したことも一因と分析。	特になし ※衆議院選挙・岐阜県知事選挙の関連で利用者が増加したことも一因と分析。
H24年度総合評価(文化スポーツ課所管施設)				
施設名	養正公民館	南姫公民館	脇之島公民館	
指定管理者名	(公財)多治見市文化振興事業団	(公財)多治見市文化振興事業団	(公財)多治見市文化振興事業団	
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	
設置目的	地域住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする施設。			

報告書類等の提出状況		良好	良好	良好
運営・利用状況	利用状況	良好	期待以上	良好
	市事業の実施	期待以上	期待以上	期待以上
	自主事業	期待以上	期待以上	期待以上
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好
	備品管理	良好	良好	良好
	その他管理	良好	良好	良好
収支状況(円)	総収入	21,035,378	21,081,681	20,298,216
	内利用料金収入	－	－	－
	内指定管理料	19,284,000	20,119,500	18,923,500
	支出	18,860,747	19,236,550	17,952,509
	収支	2,174,631	1,845,131	2,345,707
市民利用者の声の反映		良好	良好	良好
全体的評価		良好	期待以上	良好
	・地域の幼・小・中・高校や青少年まちづくり市民会議と連携し、充実した事業を継続的に実施している。 ・特色ある事業で、地元出身のアーティストのコンサートや雅楽の夕べなどを開催し、新規参加者を増やすことにつながった。 ・昨年度より新規に開催した「養正元気サロン」「ひよこのひろば」を重点事業として展開し、広がりど定着を見せた。 ・たじみオープンキャンパス講座からのサークル発足や子育て世代の利用の増加などから、館全体の利用率が上昇したとともに使用料収入も増加した。 ・設備の故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・利用者の要望や苦情に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。	・スローライフ事業で自由菜園“菜っぱ会”を立ち上げ、団塊世代対応として好評であった。 ・狙い通り自主的なスローライフ事業の拡大が図れた。（前年度比1.5倍の43区画に拡張） ・団塊世代の来館を促進し、地域団体と連携して事業を開催したため、利用者数が大幅に増加した。 ・オリジナル教材で、万葉の世界を楽しめる講座を実施し、受講者の満足は高く25年度も継続して開講中である。 ・夏祭りへの出店参加と敬老会のアトラクションプロデュースを行い地域の方々に喜ばれた。 ・子育て・親育ち支援事業及び健康・防災・放射線等の今日的課題への対応として、各部門と連携して全13回の講義や説明会等を実施した。 ・設備の故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・利用者の意見や要望に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。	・施設の利用件数が増加し、特にホールの利用件数が100件以上増加した。運動系講座がサークル活動へと定着したことによるもので、使用料収入増加にもつながった。 ・高齢化によって継続が難しいサークルを支援する目的で体験講座を開催し、会員募集に効果的な取り組みとなった。 ・和室にホワイトボードと座椅子と机を整備することで、研修室と同様の需要にも応えることができ、利用率も増加した。 ・地域団体と連携し、市民のニーズに沿った事業を開催することができた。 ・設備の故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・利用者の要望や苦情に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。	
利用人数・前年度比増減率		延べ50,252人 (前年度比0.3%減)	延べ46,187人 (前年度比6.5%増)	延べ28,023人 (前年度比2.4%増)
増減の理由		特になし	団塊世代の来館を促進する事業の展開や、積極的なギャラリー展示で、各新聞社に年間26回も掲載してもらうことができ、来館者の増加に寄与した。	特になし
H24年度総合評価(文化スポーツ課所管施設)				
施設名		小泉公民館	精華公民館	
指定管理者名		(公財)多治見市文化振興事業団	(公財)多治見市文化振興事業団	
指定期間		5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	
設置目的		地域住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする施設。		
報告書類等の提出状況		良好	良好	
	利用状況	良好	良好	

運営・利用状況	市事業の実施	期待以上	期待以上	
	自主事業	期待以上	期待以上	
施設管理状況	施設管理	良好	良好	
	備品管理	良好	良好	
	その他管理	良好	良好	
収支状況(円)	総収入	21,276,690	21,690,930	
	内利用料金収入	－	－	
	内指定管理料	20,396,500	20,710,000	
	支出	19,559,097	20,140,442	
	収支	1,717,593	1,550,488	
市民利用者の声の反映		良好	良好	
全体的評価		良好	良好	
	・企画した講座が同好会へとつながり、新規同好会も7つ誕生し、利用率がアップした。 ・地域機関や青少年まちづくり市民会議との事業が定着し、あらゆる世代が公民館でつながりを深めている。 ・文化会館との連携などでコンサートを始め地域の人に好評を得た。 ・安心・安全な空間づくりを心がけ、継続的に環境改善を行い、快適な居場所作りを心がけた。 ・設備の故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・利用者の要望や苦情に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。	・「精華公民館・地域の祭典」を年4回開催し、地域住民が集い交流できる公民館となるよう努めた。秋に開催した「ハワイアンフェスティバル」は、140名の参加者があり大盛況だった。 ・「とっくり」「湯たんぽ」工場の見学を入れた秋のウォーキングは、地場産業の陶磁器を知ることができた。 ・男性が地域にでることで仲間作りができるよう「卓球講座」を開催し、講座終了後は、同好会となり、男性の活動の場所となった。 ・「多治見子ども権利の日」協賛事業として愛児幼稚園と共催し「ささえあう心の講座」を行った。新しい試みとして小学生親子を対象に「自分を大切にすることを育む講座」を開催し、幼児、小学生の親子に心について考えてもらえる良い機会となった。 ・精華小学校、陶都中学校の子どもたち23名が「子どもぼらんていあキッズ」に登録し、公民館ボランティアとして活躍した。今年度は、地域の介護施設を訪問するなど活動の場を広げ、地域住民とふれあうことで、自主性・協調性を養うことができた。 ・設備の故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・利用者の要望や苦情に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。		
利用人数・前年度比増減率	延べ51,667人 (前年度比4.8%増)	延べ62,393人 (前年度比6.2%増)		
増減の理由	特になし ※衆議院選挙・岐阜県知事選挙の関連で利用者が増加したことも一因と分析。	特になし ※衆議院選挙・岐阜県知事選挙の関連で利用者が増加したことも一因と分析。		
H24年度総合評価(文化スポーツ課所管施設(指定公園については、同課及び緑化公園課所管))				
施設名	指定公園及び運動場 ※H23年度指定替えにより笠原運動場・公園追加	総合体育館	平和マレットゴルフ場	
指定管理者名	株式会社 コパン	株式会社 コパン	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ	
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	

設置目的		市民の健康の増進を図るための運動場等。	市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって市民の心身の健全な育成に寄与するための施設。	スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって市民の心身の健全な育成に寄与することを目的とする。
報告書類等の提出状況		良好	良好	若干不備あり
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	良好
	市事業の実施	良好	良好	良好
	自主事業	良好	良好	良好
施設管理状況	施設管理	良好	良好	若干不備あり
	備品管理	良好	良好	良好
	その他管理	良好	良好	良好
収支状況(円)	総収入	87,356,255	72,927,988	1,780,506
	内利用料金収入	21,594,854	13,632,908	573,550
	内指定管理料	63,847,000	53,153,000	1,144,000
	支出	86,529,968	67,353,940	1,766,815
	収支	826,287	5,574,048	13,691
市民利用者の声の反映		良好	良好	良好
全体的評価		良好	良好	良好
		○屋外体育施設 ・体育施設の維持管理は、星ヶ台競技場芝生管理で不十分な点が見られたものの、概ね良好に実施されている。 ・笠原地域の体育施設では、積極的にニーズ把握のためのアンケート調査を行っている。 ・自主事業については、星ヶ台競技場無料開放の運営を見直し、種目協会等の団体と連携しながら工夫して事業が行われている。 ・ぎふ清流国体では、市と協力して大会準備・運営に取り組み、大会の成功に寄与できた。 ○指定公園 ・指定公園全体として施設の維持管理は、適切に行われている。 ・専門業者による遊具の点検結果をうけ、危険性のあるものを指定管理者にて利用を停止とするなど、主体的に事業執行していることは評価できる。今後、点検結果に基づいた修繕計画を立て、必要性の高いものから順次修繕を実施するよう努めてもらいたい。	・利用者へのサービスを第一に考え、市民ニーズの把握に努めている。設備器具等の修繕や要望・苦情への対応は、利用者に迷惑がかからないよう迅速に行われており、利用者の満足度にも反映されている。 ・接遇等の職員研修は、アルバイト含め、全社員に対して積極的に行われている。 ・市の事業を受託するなどして、積極的に市と協力・連携して運営されている。 ・ぎふ清流国体では、市と協力して大会準備・運営に取り組み、大会の成功に寄与できた。 ・事故発生においては受傷者に対し的確に対応している。 ・国体により利用できない期間は、笠原体育館と連携して利用者への対応を図ることができた。 ・館内清掃は行き届いており、清潔性が維持されている。	前指定管理者から引き継いで、2年目の管理運営を行っている。 ・施設の受付、整備については、通常は有償ボランティアが交代で対応して行われている。 ・指定管理者が行うべき施設修繕整備について、市の協力を得て修繕計画を検討中。 ・施設の利用向上のための課題を把握し、関係機関への働きかけや利用者の意見を反映させる方法を市とともに検討している。 ・定期大会の開催により、利用者同士のつながりが広がるなど、リピーターの確保に努めている。 ・アンケートの結果、利用の満足度では、「満足」が81.3%あり、「普通」17.2%と合わせると、98.5%が全体的に良好としている。
利用人数・前年度比増減率		延べ190,964人 (前年度比9.7%減)	延べ160,039人 (前年度比1.4%増)	延べ2,006人 (前年度比4.5%減)
増減の理由		特になし	特になし	特になし